

2011年度 第2回水工学委員会幹事会 議事録

日時： 2011年10月5日(水) 12:00～13:00

場所： 土木学会講堂

出席者： 寶馨(委員長), 道奥康治(副委員長), 篠田成郎(幹事長), 大石哲(編集幹事長), 今村正裕, 大槻英樹, 沖大幹, 鬼束幸樹, 川池健司, 神田佳一, 里深好文, 清水義彦, 鈴木正人, 田中規夫, 堤大三, 戸田祐嗣, 中北英一, 中津川誠, 藤田一郎, 矢島啓, 渡邊康玄, 浅沼順, 天野邦彦, 石平博, 泉典洋, 門田章宏, 神田学, 関根正人, 知花武佳, 富永晃宏, 原田守博, 矢野真一郎[敬称略]

議題：

寶委員長からの挨拶の後, 以下の事項について審議が行われた。

《報告事項》

1. 2011年度水工学に関する夏期研修会(広島大学)について(矢島啓 委員)

8月29～30日に広島大学にて開催。参加者はAコース：69名, Bコース：69名の計138名。アンケートの集計結果から, 参加者数が減少傾向であること, 参加者内訳はコンサルタントを中心とする民間が多いこと, 参加者の満足度は高いことなどが報告された。その他の意見として, 参加費が高い, 開始時刻・終了時刻を工夫してほしい, 1日単位の参加も検討してほしい, A・B両コース受講できるスケジュールで開催してほしい, 講義集やPPTをPDFで欲しい等の意見があったことが報告された。

2. 水シンポジウム(2011・京都)について(篠田成郎 幹事長)

8月11～12日に京都で開催された(11日：シンポジウム, 12日：現地見学会)。分科会1を基礎水理部会が担当。参加者は11日のシンポジウム：550名, 見学会の第1コース：24名, 第2コース20名であった。見学会参加者は関係者が多かったため, 一般参加者を増やす工夫が必要があることなどが報告された。

3. 全国大会研究討論会(2011・愛媛大学)について(篠田成郎 幹事長)

第3回幹事会にて報告されることが伝えられた。

4. 各部会, 小委員会の活動報告について

a) 水文部会(神田学 部会長)

9月9日(金)12:00～13:00に愛媛大学にて水文部会を開催。10月21～23日に水文研究集会を富山にて, 11月12～13日に第12回地下環境水文学に関する研究集会を長崎にて開催予定とのことが報告された。

b) 基礎水理部会(富永晃宏 部会長)

委員の交代(2名退任, 4名の新任)があり, 計29名の体制とのこと。12月5日に基礎水理シンポジウムを土木学会講堂にて開催予定とのこと。11月20～22日に木曾川を対象に基礎水理部会河川見学会を開催予定とのことが報告された。

c) 環境水理部会(二瓶泰雄 部会長)

次回幹事会にて報告されることが伝えられた。

d) 河川部会(泉典洋 部会長)

次回幹事会にて報告されることが伝えられた。

e) 地球環境水理学小委員会(中北英一 委員長)

今後の活動の方向性について, 温暖化適応策を軸に考えていくとのことが報告された。

f) 流量観測技術高度化研究小委員会(藤田一郎 委員長)

現在, 小委員会メンバーが確定した状況とのこと。ISO/TC113小委員会や水文水資源学会での流量観測研究者との連携などを今後検討していくとのこと。

g) 部会員メンバーに関する情報共有について(篠田成郎 幹事長)

水工学委員会HPのウェブファイルマネージャーに各部会のメンバー一覧を掲載し, 部会

間で情報共有したいとの提案があり了承された。各部長は部会メンバーに了承を得て、ウェブファイルマネージャーにアップロードして欲しいとの依頼があった。

5. その他

- a) 平成 22 年度調査研究委員会活動評価結果（篠田成郎 幹事長）
評価項目 I, II, III, 総合評価のすべてが A 評価であったことが報告された。
- b) 2011 新潟・福島豪雨災害調査団（篠田成郎 幹事長）
玉井信行・金沢学院大教授を団長として、新潟班、福島班に分かれて調査が実施されたとのこと。玉井団長は 2002 年水害調査時も団長だったので、当時との比較も視野に入れて検討されるとのことが報告された。
- c) 2011 台風 12 号に伴う災害調査団（寶 馨 委員長）
台風 15 号の結果も考慮して、今後、調査団の構成を検討していくとのことが伝えられた。

《協議事項》

1. 第 56 回水工学講演会の開催日程・開催行事（愛媛大学）

- a) アゲールシンポジウム（3 月 6 日）（中北英一 委員）
適応策に重点を置いたシンポジウムを検討中とのこと。なお、河川災害シンポジウムと同時開催にならないようなプログラムで実施予定。
- b) 特別講演会（3 月 7 日）（門田章宏 幹事）
スピーカーとして、四国の中からどなたかにお願いをしたいとの提案があった。12 月には決定する必要があるため、11 月の第 3 回幹事会で提案するよう要請があった。

2. 次年度水シンポジウムについて（2012・岐阜）（篠田成郎 幹事長）

2012 年 7 月 26（木）シンポジウム、27 日（金）見学会で開催予定。会場：じゅうろくプラザ（JR 岐阜駅前）。実行委員会構成案は水工学委員会、中部地方整備局、岐阜県、岐阜市、岐阜大学。担当部会は水文部会。シンポジウムの流れに関して、分科会を参加者の立場によって「市民・子ども」と「実務者」の 2 つに絞り、研究者が両者の視点をつなぐようなストーリーを検討中とのこと。

3. 水工学に関する夏期研修会（2012・水工学委員会担当）について（中津川 誠 幹事）

2012 年 8 月 27 日（月）～28 日（火）の日程で、北海道大学工学部にて開催予定とのこと。水文・水資源学会と重なっていないか再確認すること。参加費を変更するか否かについては、現状で収支がギリギリであること、海岸工学委員会との調整が必要なことから、執行部で預かって検討することとなった。なお、海岸工学委員会の担当者は北海道大学・渡辺先生とのこと。

4. その他

- a) 土木学会主催シンポジウムでのセッション担当（篠田成郎 幹事長）
2012 年 3 月 5 日～6 日に土木学会主催「東日本大震災 あれから 1 年そしてこれから～巨大災害と社会の安全～」(会場：東京大学) が開催予定であり、3 月 6 日午前中のセッション：「激甚化する水害：超過洪水にどう対処するか？」を水工学委員会で開催してほしいとの依頼があったとのこと。当日が水工学講演会 1 日目に重なっているため、水工学委員会からはセッション・コーディネータおよびスピーカー選出を行うことなどで協力することが報告された。コーディネータについて、思い当たる方がいれば推薦いただきたいと依頼があった。
- b) 土木学会規定類の確認について（篠田成郎 幹事長）
学会の公益社団法人化に際して、学会内各種委員会の規定類の整合性をとる必要があり、その対応として、水工学委員会内規で変更が必要な箇所について説明があった。実質的活動に影響が出る変更箇所は無いが、後日、メールにて回覧・意見収集のうえ対応することになった。

c) 次年度水工学講演会（原田守博 委員）

次年度の水工学講演会（会場：名城大学を予定）について、3月初旬の火、水、木を第一候補として検討すること。河川災害シンポジウム、アゲールシンポジウムは、同じ時間帯にならないことを第一希望とするが、掲載論文数などの関係で事前には確定できないことから、同時開催、違う時間帯での開催のどちらでも対応できるよう会場を確保いただけたとの話があった。

以上